

# いりゅうつぼいせき 異龍坪遺跡発掘調査一般公開

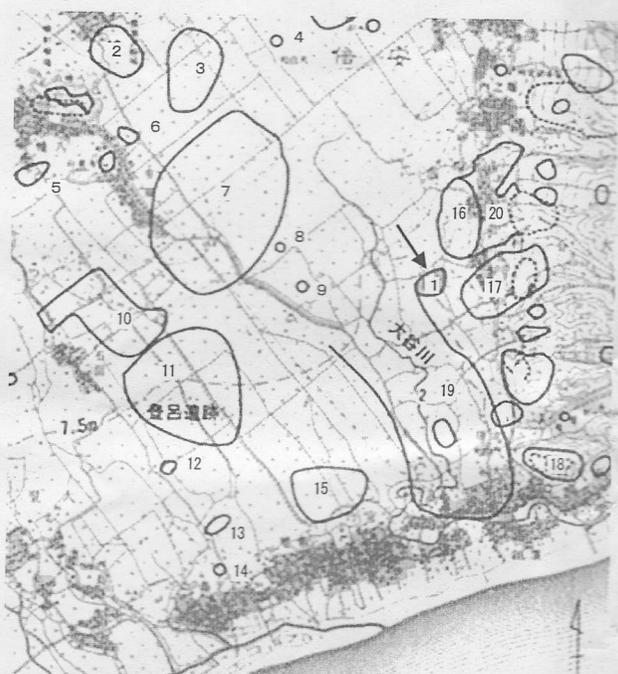
平成27年5月31日(日)  
静岡市教育委員会

- 1 遺跡の名称 異龍坪遺跡(いりゅうつぼいせき)
- 2 所在地 静岡市駿河区宮川
- 3 調査期間 平成27年1月～平成27年10月(現地調査)
- 4 調査主体者 静岡市教育委員会(静岡市観光交流文化局歴史文化課)
- 5 調査概要

東名高速道路スマートインターチェンジ建設計画に伴う試掘調査の結果、これまで知られていなかった遺跡の存在が明らかとなり、工事前に発掘調査を行い、遺跡の内容を調べ、記録していくことになりました。遺跡は、古墳時代前期(西暦4世紀頃)のものと考えられ、見つかった静岡市駿河区宮川こあざの小字名から「異龍坪遺跡」と命名されました。

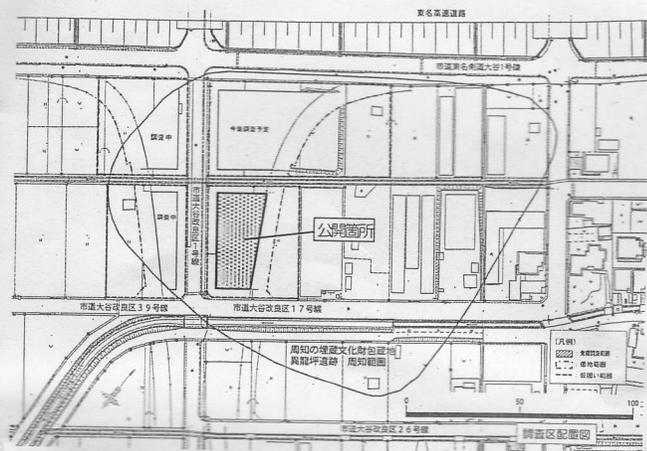
調査箇所は4つに分かれ、今回公開するのは南東の調査区です(調査区配置図参照)。現地表(水田)下約1.8mで古墳時代前期(西暦4世紀頃)の建物跡(柱穴)が4棟以上、溝状遺構、土坑が見つかり、古墳時代前期の集落の一部であることがわかりました。調査区南端の2号溝状遺構は、集落の外と内を区画する溝である可能性があります。静岡平野においては、弥生時代に引き続く古墳時代前期の集落遺跡の調査例が少なく、集落の構造を知る上で貴重な資料といえます。

また、平安時代の自然流路が見つかり、その中から、斎串や人形(まつりに使われた木製の道具、形代)が40点以上出土しました。(右図「遺構配置図」参照)

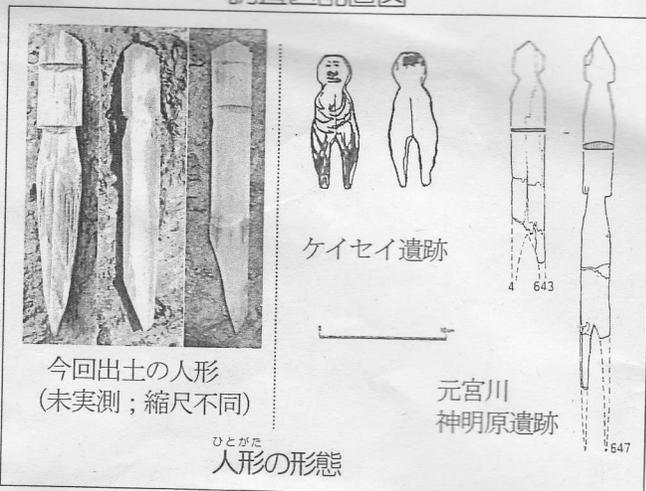


- 1 異龍坪遺跡 2 小黒遺跡 3 豊田遺跡 4 三菱工場内遺跡
- 5 八幡五丁目遺跡 6 有明遺跡 7 有東遺跡 8 遺物採集地点
- 9 天神森遺跡 10 鷹ノ道遺跡 11 登呂遺跡 12 水洗遺跡
- 13 下島遺跡 14 遺物採集地点 15 汐入遺跡 16 片山遺跡
- 17 宮川遺跡 18 上ノ山遺跡
- 19 元宮川神明原遺跡 20 片山廃寺跡

遺跡位置図 (遺跡分布図)



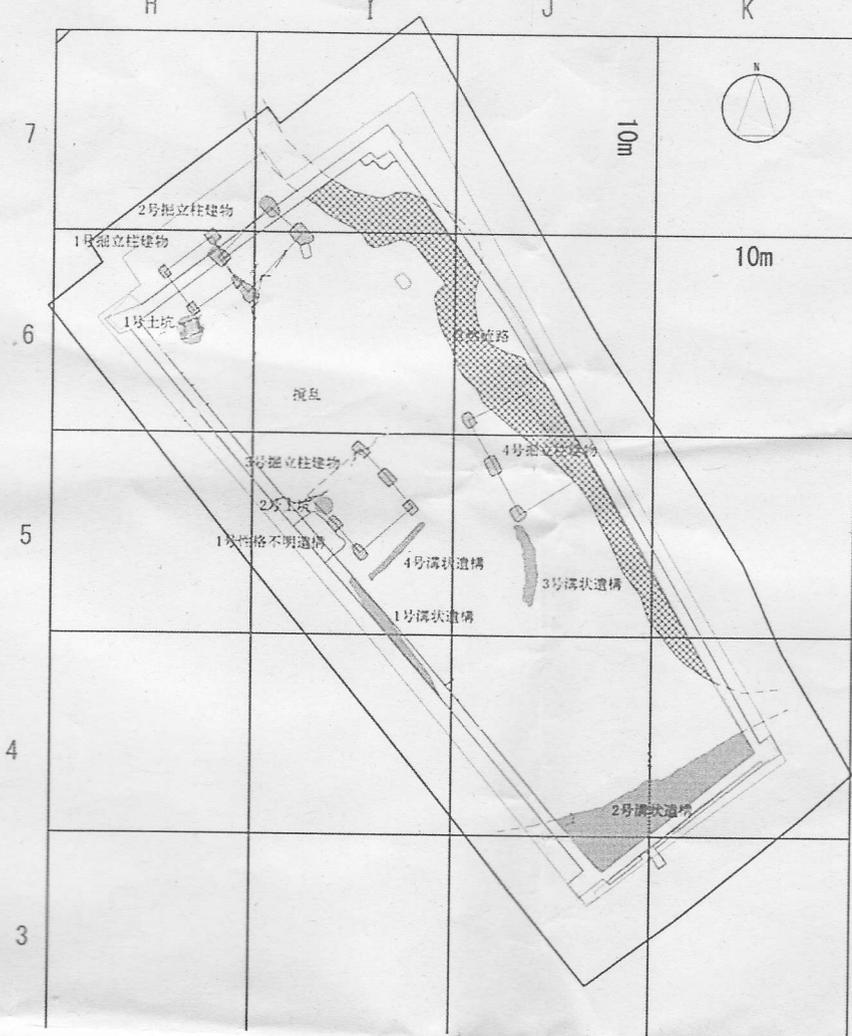
調査区配置図



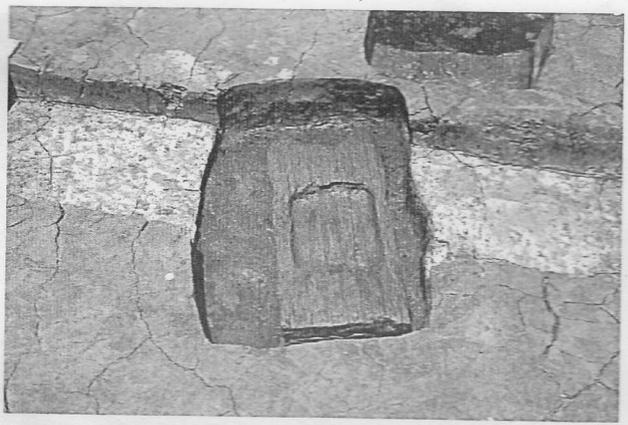
今回出土の人形  
(未実測; 縮尺不同)

ひとがた  
人形の形態

元宮川  
神明原遺跡



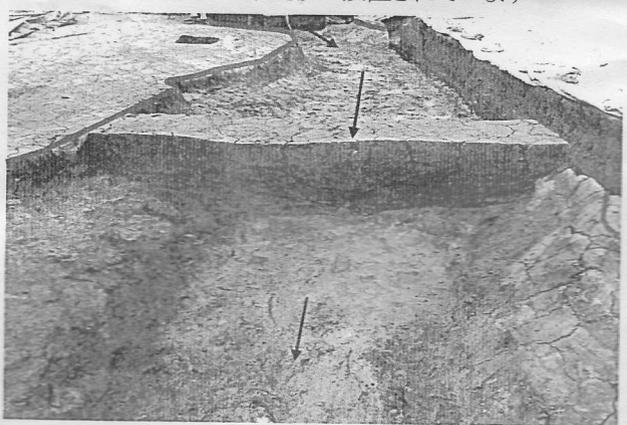
遺構配置図



建物跡の柱穴 (2号掘立柱建物; 古墳時代前期)  
柱が沈まないよう礎板が設置されています



2号溝状遺構 (古墳時代前期)  
集落の外と内を区画する溝と考えられます



自然流路 (平安時代)  
流れはあまりなくよどんだ状態にあったようです



人形 (平安時代)  
自然流路から木製祭祀具が数多く見つかりました